

2021年5月20日

日本造血・免疫細胞療法学会
移植認定診療科責任医師各位
移植医師各位

(公財)日本骨髄バンク
移植調整部

「患者登録前に実施した **NGS-SBT 法 HLA 検査結果コピー**」の
JMDP への提出について

現在、患者 HLA データの入力は移植施設が行っていますが、誤入力やデータの取違い等により、患者 HLA データの相違が判明したケースが複数発生しています。

- ・ 誤入力等の判明は患者 HLA 確認検査の実施によるものです。最初から NGS データで登録の場合は、あらかじめ NGS 法 HLA 検査を行わないため、誤入力に気付くことができません。
- ・ HLA 相違のまま移植に至る場合、移植直前に相違が判明した場合には、患者やドナーへの影響が多大となります。

今後 **NGS 法での HLA 入力を行った場合は、検査結果コピーを JMDP へ提出**して下さい。

<p style="text-align: center;"><新運用> NGS 法で HLA を登録 (JMDP 登録後に NGS 法 HLA 確認検査を実施しない)</p>	<p style="text-align: center;"><現行通り> NGS 法以外で HLA を登録 (SBT 法、r-SSO 法など)</p>
<p style="text-align: center;">HLA 検査結果のコピーを JMDP へ要提出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>患者登録同意書に同封し送付</u>してください。 ・ 本人確認検査実施の有無に関わらず要送付。 (本人確認検査 (HLA-A, B 抗原のみ) を実施する場合でも、頻度の高い抗原型であれば、相違と認識できない可能性があるため) <p>※<u>これまで NGS 法で登録済みの患者さんについては、遡って確認しませんのでご留意</u>ください。</p>	<p style="text-align: center;">HLA 検査結果のコピーは不要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コピーを送付されても JMDP でデータの照合は行いません。

以上

問合せ先：移植調整部
TEL : 03 (5280) 4771 / FAX : 03 (5280) 3856